

令和元年度第1回外部評価委員会での主な意見

令和元年7月25日(木)10:00～12:00

市役所4階大会議室

議事

1. 令和元年度の中津川市外部評価委員会の進め方について

- ・資料に沿って事務局から説明。

2. 「評価対象事業の平成27～30年度の進捗状況」

■放課後児童クラブ運営事業

- ・放課後児童クラブは未設置の神坂地区に新設をする計画であるが、H30年度は設置できていない。しかし神坂地区の希望者が落合地区の放課後児童クラブを利用できるように移送支援を実施している。放課後児童クラブの設置数以外に、待機児童ゼロを指標に組み入れたい。
- ・移送支援の内容は。
- ・バス等の燃料代の支援(行きの公共交通機関)をしている。
- ・神坂地区は他地区での利用に支障が無ければ、新たに放課後児童クラブ設置の必要は無いと思う。

■子育て支援事業

- ・子育て支援センターは現在5か所設置から、新たに2か所を設置する目標だが、H30年度設置が無いので、進捗が遅れている状況である。これからは延べ利用者数を指標に入れ、施設設置だけでなく、既存施設の利用者を増やしていきたい。
- ・施設設置だけでなく、利用者数、また利用者の満足度が高ければ順調でよいのではないか。
- ・施設の広報はされているのか。地域に施設の存在が知られていない印象がある。施設を設置しないという選択をするのであれば、既存施設をPRして、利用者数を増やすべき。
- ・事業を市でPRするのも大事だが、サークルなどの活動支援を手厚くしていくのはどうか。
- ・施設の設置数だけでは効果が測れないので、利用者数、満足度を指標に入れたい。やさか地域は有志で子育てサークル活動を行っているが、今後の継続性が課題であり、民間への委託の可能性もあるので、活動支援の内容も今後検討していく。

■8万人のヘルスアップ事業

- ・特定健康診査受診率が上がらないことが課題である。
- ・かかりつけ医で、特定健康診査と同じ項目の診査を受けているが、かかりつけ医による診査は受診率に反映されるのか。
- ・医師にその旨を伝えれば、受診率へ反映される。受診率は75歳以上の割合は高いが40

歳以下はかなり低い。受診率向上のために受診料を下げたことを、PRしているが市民への認知度は低い。

- ・特典をつければ意識づけになるのではないか。
- ・受診者を対象としたポイント制度の導入を検討している。昨年実施したスマートフォンを活用した健康ウォーキングアプリのイベントでも、特典を準備したところ、健康意識の低い若い世代の参加が増えたので、効果があったと言える。しかし、一部の参加者の中で景品を目的に過剰な競争が起こり、イベント本来の目的から逸れてしまうことがあった。今後はきっかけとしてのインセンティブを組み込んでいきたい。

■特産品振興事業

- ・百貨店等の催しに行く機会が少ないので、事業全体のイメージがあまりできないが、どのようなPR(フェア)をしているのか。
- ・百貨店や複合商業施設で栗菓子、香辛料、漬物などを幅広く販売しているほか、五平餅の実演販売等も実施している。
- ・最近、物産展のニーズが高まっていると思うが、岐阜県の物産展は行われていない印象である。九州、北海道の物産展は売上が高いと思う。中津川市だけでなく、県全体で物産展等を企画できるとよいと思う。規模が小さいとPRが難しい。
- ・リニア開業に向けて東京でPRしてほしい。
- ・リニアに関連する自治体とコラボしてPRを行うといいのではないか。
- ・コンビニに「岐阜タンメン」というカップラーメンがあり、県外の知り合いにプレゼントしたら大変喜ばれた。きっかけはどうであれ、みんなが目にする場所(店)で商品に地名が入るとわかりやすい。中津川だけでなく県全体でそういったことを考えていってほしい。

■市有墓地整備管理事業

- ・市営墓地の管理は市で行っているのか。
- ・市、地元で管理している。地元の割合が高い。
- ・時代の変化をとらえ計画をしていってほしい。
- ・自分の今もっている墓地を移転できるのか。
- ・相談してもらえれば対応できる。
- ・市の管理している墓地はどこか。
- ・打越、青木、西山墓地で。市全体で130か所程度あるので大半は地元をお願いしている。